

学校図書館と読書活動について

蒲郡市立三谷小学校

1 読書の時間と図書室利用

- ・毎週火曜日、朝のチャレンジ学習 15 分間、全校一斉で読書をしている。
- ・学級文庫を 25～30 冊、学校図書館から貸し出し、年 3 回入れ替えを行っている。
- ・1, 2 年は「えほんのへや」(低学年図書室)、3～6 年は高学年図書室を利用している。
- ・学活や国語の時間を利用して、図書館支援員(司書)による、図書館オリエンテーションや、夏休み前にブックトークを行っている。



【読破賞の表彰】

2 読書活動の充実

- ・学年読書目標を 1, 2 年は 100 冊、3～6 年は 5000 ページとして、達成者について「読破賞」の表彰を行っている。また、目標を達成した児童にさらに目標をもたせるため、200 冊、300 冊、10000 ページ、20000 ページを達成した場合も表彰している。昨年度は 40 名程度が達成し、また、そのうち数名が 200 冊や 10000 ページを達成した。
- ・図書委員会の児童は、20 分放課と昼放課に図書当番の活動として、貸し出し・返却のカウンター業務を行っている。3 年前から高学年図書室だけでなく、えほんのへやでもバーコードを読み取ってパソコンで貸し出し・返却の手続きを行えるようになった。図書委員は、利用者の多い雨の日に、読み聞かせを行っている。図書当番の常時活動の他に、特別活動として読書週間の企画・運営を行っている。今年度は、「ブックシリーズビンゴ」を企画し、ビンゴカードや景品の「しおり」を作成した。
- ・地域のボランティアによる読み聞かせが、伝統的に盛んで、年間延べ 40 回程度行われている。この読み聞かせを児童は毎回楽しみにしている。



【図書委員の読み聞かせ】



【ビンゴの景品作り】



【ボランティアの読み聞かせ】